

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル2**とします。

【概要】

1 県内の感染状況

指標	時点・期間	数値
最大確保病床利用率(使用数)	5月18日(水)	20.3% (170名)
新規感染者数	5月12日(木)～5月18日(水)	4,142名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（5月13日発表）	今回（5月20日発表）
レベル2 なお、感染状況は増加が見られ、 注視が必要。	レベル2 なお、感染状況は横ばいの状況である。

3 県民の皆様へのお願い

連休による人流増加により、本県の感染者数は先週と比較し増加し、直近では横ばいの状況です。急激なリバウンドによる増加傾向への移行は防がれたように見えますが、感染者数の多い状況は継続しており、病床使用率も連休中に比べて増加していることから、注意が必要です。

県民の皆様におかれては、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。感染リスクが高まっている状況であることを踏まえ、少しでも症状がある場合は仕事等を休み、受診していただくようお願いします。

また、希望する方は3回目のワクチン接種を可能な限り早く受けていただくようお願いします。

熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）5月20日】

1 熊本市における現状認識

全国の新規感染者数は、連休の影響もあり増加が見られているが、大都市部を中心に横ばいに推移している。

本市の5月18日時点の入院者数は170人（最大確保病床に対する使用率：20.3%）、5月12日から5月18日までの新規感染者数は4,142人である。現状から、本市のリスクレベルはレベル2とする。

連休による人流増加により、本市の感染者数は先週と比較し増加し、直近では横ばいの状況である。急激なリバウンドによる増加傾向への移行は防がれたように見えるが、感染者数の多い状況は継続しており、病床使用率も連休中に比べて増加していることから、注意が必要である。

市民の皆様におかれては、基本的な感染防止対策の徹底をお願いする。感染リスクが高まっている状況であることを踏まえ、少しでも症状がある場合は仕事等を休み、受診していただくようお願いする。

また、希望する方は3回目のワクチン接種を可能な限り早く受けていただくようお願いする。

前回（5/13発表）	今回（5/20発表）
レベル2 なお、感染状況は増加が見られ、注視が必要。	レベル2 なお、感染状況は横ばいの状況である。

[熊本市リスクレベル]

【目的】感染者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や市民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は、本市あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

レベル	該当する状況	本市の基準		本市で想定する対策例
		病床基準 ^{※2}	新規感染者基準 ^{※3}	
レベル4 避けたい レベル	一般医療を大きく制限しても対応困難	80% (673人)	—	<ul style="list-style-type: none"> 国への災害医療的な対応依頼 積極的疫学調査の重点化 等
レベル3 対策強化 レベル	一般医療の制限が必要	40% (336人)	50人 (869人)	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン・検査パッケージ制度適用の停止 【緊急事態措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請^{※1}、休業・時短要請 -イベントの人数制限要請^{※1} -県外移動は極力控える呼びかけ^{※1} 等 【まん延防止等重点措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請^{※1}、時短要請 -イベントの人数制限要請^{※1} -県外移動は極力控える呼びかけ^{※1} 等
レベル2 警戒強化 レベル	感染増加傾向が見られているが、病床数を増やすことで対応できている状態	15% (126人)	10人 (174人)	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店を起因として県内の感染が拡大する場合、認証店以外の飲食店の時短要請^{※4}、国へのまん延防止等重点措置要請 国とまん延防止等重点措置要請の協議開始 感染状況に応じ、感染不安を感じる無症状者への検査受検要請を検討 飲食店等の人数制限要請^{※1} 感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛要請 感染リスクの高い行動回避の呼びかけ 段階的な病床の確保 等
レベル1 維持すべき レベル	一般医療が確保	—	1人 (17人)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的感染防止対策徹底の要請 イベントの感染防止対策徹底等の要請 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置地域への移動を控える呼びかけ^{※1} 等
レベル0 感染ゼロ	新規感染者ゼロを維持	県内で継続的な感染が起こっていない状況		

(※1)ワクチン・検査パッケージ制度適用等による緩和対象

(※2)最大確保病床使用率(5/20時点：841床に対する入院者数)

(※3)週の新規感染者数/人口10万人(本市人口換算)。人口は令和2年国勢調査の数値

(※4)自主的に時短に協力した認証店には協力金を支払う

(注1)病床基準と新規感染者基準を踏まえ、感染拡大傾向や他県の状況を鑑み、総合的にレベル判断を行う。

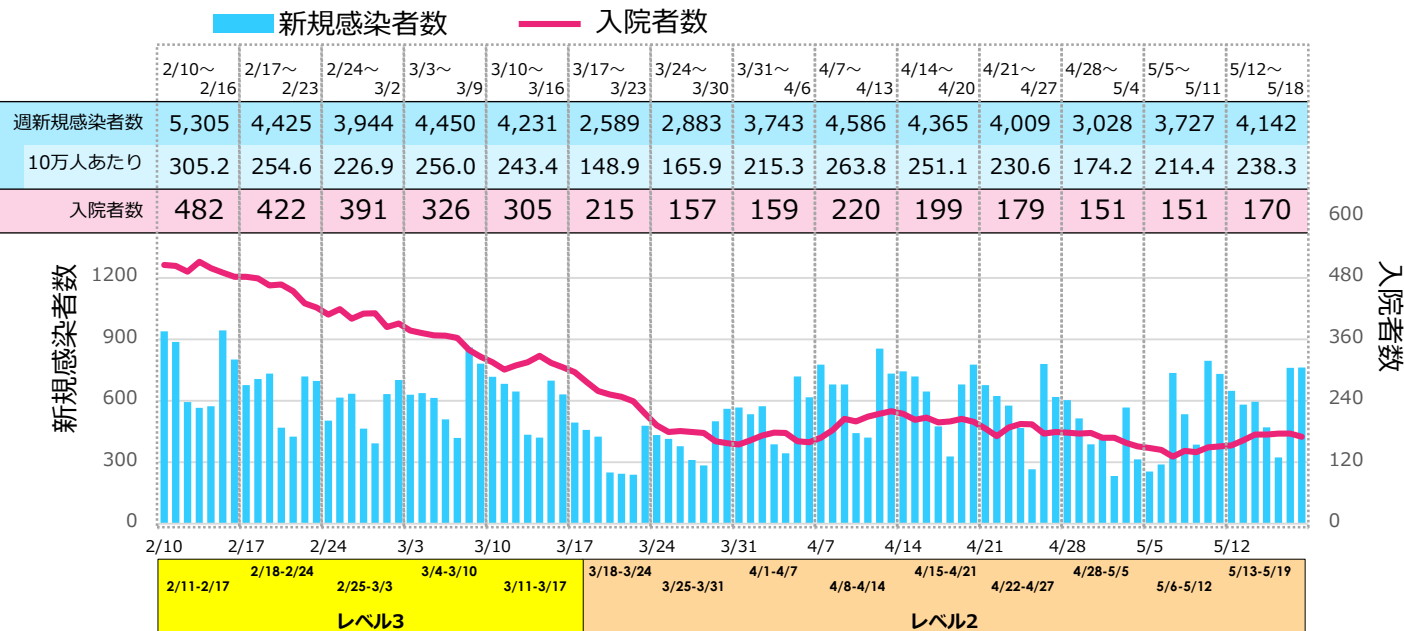
(注2)感染状況や、重症病床使用率、変異株の流行状況によっては、基準によらない判断を行うことがある。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (5月19日現在)

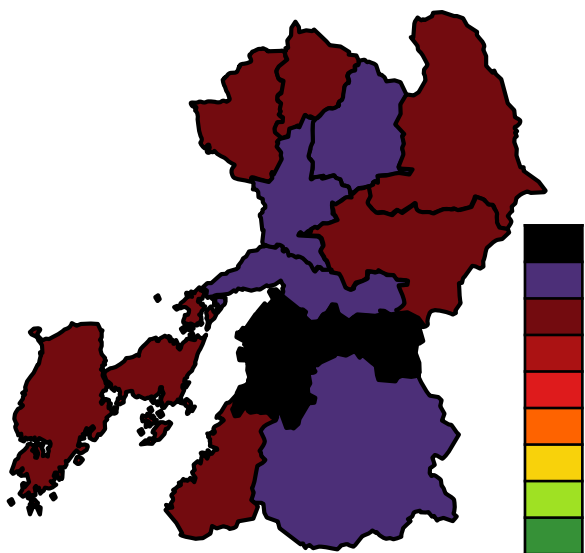
- 熊本県の5月18日時点の入院者数は170人（最大確保病床に対する使用率：20.3%）、5月12日から5月18日までの新規感染者数は4,142人である。したがって、県リスクレベルはレベル2とすることが妥当である。
- 連休による人の移動の増加により、全国的に感染者数及び病床使用率は増加した。これまで、連休を契機として感染が中長期的な増加傾向へ移行したことは何回も経験しているが、今回は、特に大都市等においてはこうした移行は明瞭には見られていない。
- 連休による一過性の増加要因と、集団免疫効果による減少要因が拮抗している状況と考えられるが、ワクチンの発症防止効果は漸減するため、感染者数は今後増加に向かうことは想定しておく必要がある。
- その場合、どのような状況になれば病床がひっ迫するかを考えておくことが重要である。東京大学のグループが、感染者数の増減シナリオによる今後の病床見込みを推計するツール※をリリースしているが、入院率を第6波の水準未満で維持(3%程度)できた場合、熊本県では感染者数が一日1,500人を超えても病床のひっ迫は起こりにくいとの結果が得られる。なお、保険制度等が異なるので直接的な比較はできないが、他国ではオミクロン株流行における入院率は1%未満とのデータもある。
- 高齢者やハイリスク者については、今後ワクチンの4回目接種も開始されるが、これにより入院率や重症化率を低い水準に維持できることが期待され、多くの方が接種を受けた場合、感染者数が増加したとしても社会への影響を低く抑えられる。今後、入院率の推移も参考としながら、感染者数が増加しても耐えられる体制作りを進めていただきたい。
- ただし、感染者が多い状況において、個人の感染防止対策は引き続き非常に重要である。先週説明したとおり、少しでも症状がある場合は仕事等を休み、受診することを第一に、感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

※…<https://covid19-icu-tool.herokuapp.com/>

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（2/10～5/18）：公表日ベース】



【保健所ごとの感染例の確認状況】



保健所名	5/12～5/18	
	新規感染者数	人口10万人*1あたり
熊本市保健所	2,038	275.8
有明保健所	260	169.0
山鹿保健所	86	175.4
菊池保健所	458	245.3
阿蘇保健所	103	175.5
御船保健所	130	158.5
宇城保健所	217	211.6
八代保健所	430	320.5
水俣保健所	73	167.8
人吉保健所	207	254.1
天草保健所	140	130.3

*1 各保健所管内の人口は、国政調査(2020年10月1日現在)に基づく

【医療提供体制、感染状況に関する参考指標】

時点	医療負荷の参考指標						感染状況の参考指標				
	重症病床 使用率 (最大確保病床)	療養者数	入院率 ※1	重症者数	中等症者数	必要病床数予測※2			検査陽性率	感染経路 不明割合	新規感染者数 今週/前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
5月18日	7.4%	6,059人	2.8%	5人	45人	221	351	432	33.9%※3	33.6%※4	1.1
5月11日	7.4%	4,967人	3.0%	5人	44人	204	330	436	33.6%	50.4%	1.2
5月4日	5.9%	4,769人	3.2%	4人	48人	185	212	188	34.4%	34.9%	0.8
4月27日	5.9%	7,047人	2.5%	4人	48人	216	301	316	29.9%	36.2%	0.9
4月20日	2.9%	6,294人	3.2%	2人	46人	216	316	342	31.1%	36.6%	1.0
4月13日	5.9%	6,129人	3.6%	4人	62人	269	429	565	32.2%	38.2%	1.2
4月6日	8.8%	5,819人	2.7%	6人	48人	215	348	478	31.0%	43.7%	1.3
3月30日	8.8%	5,035人	3.1%	6人	44人	170	225	262	25.2%	37.1%	1.1

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用

※2 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール（国立感染症研究所）の短期予測を用い、本県のデータを用い算出（感染が急激に増加する場合は、誤差が非常に大きくなるため、ツール制作者が認める範囲内でパラメータを調整する場合があります）
4月13日時点からワクチン3回目接種の効果を加味。

※3 新規感染者数（公表日ベース）及び県内の全検査数の1週間合計より算出

※4 調査が完了した3,521名の調査結果から算出したもの。調査が完了していない事例（リンクが判定されていない）621名分は分母に含まれない。

3 県民の皆様へのお願い（5月20日発表）

熊本県リスクレベルは、**レベル2**です。また、感染状況は横ばいの状況です。

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク（不織布マスクを推奨。以下同じ）着用※
- ② こまめな手洗い・手指消毒、換気
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用、手洗い、換気、人と人との距離の確保等の感染防止対策を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。

※…屋外で人と十分な距離（2m以上）離れているような感染リスクの低い場面では、熱中症予防の観点からも、マスク着用は必要ありません。



©2010 熊本県 くまモン

2 検査受検

わずかでも発熱などの症状がある方

外出せず、すぐにかかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診してください。

発熱等がある場合



症状はないが、感染に不安を感じる方

県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、検査を受けてください。なお、無料検査は当面の間継続することとしています。

無料検査について



3 移動・外出

【移動】

- ・都道府県をまたぐ移動は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底してください。
- ※沖縄県に移動される方は、その前にワクチン3回目接種又は検査で陰性を確認することにご協力をお願いします(沖縄県・国からの呼びかけ)。

【外出】

- ・マスク着用等の感染防止対策を徹底してください。
- ・感染リスクの高い「3つの密」のある場所への外出は自粛してください。

4 会食はリスク大！特に注意しましょう

- 会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- なるべく普段から一緒にいる人と
- 人数を絞って



熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ

飲食を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場合に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなで実践しましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認しましょう。
- 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内とするようお店と相談しましょう。
- ※認証店は除きますが、下記のような工夫で感染リスクを下げましょう。

STEP2 会食前に下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手指消毒を行い、マスクを着用したまま、すぐに着席しましょう。

STEP3 会食中に下げる！

- 食事中でも、会話をするとマスクを着用しましょう。
- 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や咳の移動は控えましょう。
- 箸やコップの使いまわしはやめましょう。
- 露酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲食の影響で参加者の気分が高揚し、マスク無しの会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になってしまったら、早めにお開きしましょう。

STEP4 会食後に下げる！

- 長時間かつ深夜のはしご酒は控えましょう。
- 帰宅前後の手洗いなどにより、家屋内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 方が一、発熱等の症状が出た場合は、すくにかかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

- 県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
- 感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。
- 飲食店を利用する場合、同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。 ※…認証店における会食を除く。
- 宴会等はなるべく普段から一緒にいる人と行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。

(注)認証店：「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」の認証を受けた店舗

5 飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】

- 県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示してください。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。

【認証制度】

- 感染防止対策が徹底されている「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

チェックリスト



認証制度



※…認証店における会食を除く。

6 イベント開催

- 県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- 参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率】のいずれか小さい方に制限してください。
- 感染防止安全計画を策定するイベントについては、イベント開催日の2週間前までを目途に県に感染防止安全計画を提出してください（大声なしの担保が必要）。
- 感染防止安全計画を策定しないイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表し、イベント後1年間保存してください。

	感染防止安全計画の策定あり	その他 (感染防止安全計画を策定しない)
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率	100%	大声なし：100%、大声あり：50%

イベントの開催制限について



「大声」：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。「大声あり」：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当
詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」を御確認ください。

事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・テレワークの推進等により出勤者削減(可能な範囲で目標を設定)への取り組み
- ・職場における感染防止のための取り組み(手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等)の徹底

保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取り組み(職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等)の徹底
- ・感染状況等に応じて臨時休園等の判断を速やかに行うよう市町村へ依頼
- ・連休後のリバウンド防止のため、保育所で希望する場合は保育士等に対する集中的検査の実施
- ・市町村の代替保育の実施を支援

学校

- ・文部科学省の「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止対策の徹底
- ・感染防止対策の徹底を依頼
- ・部活動において感染防止対策を徹底した上での活動を依頼
- ・連休後のリバウンド防止のため、小学校で希望する場合は教職員に対する集中的検査の実施

高齢者施設等

- ・従事者にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制の構築
- ・オンライン研修等による、感染防止対策の実施
- ・高齢者・障がい者等の施設の従事者に対する集中的検査の実施

その他

- ・保育所の保育士、小学校の教職員、高齢者施設等の従事者等が濃厚接触者になった場合に早く職場に復帰できるよう検査の実施を支援

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがどこでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々には責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にないよう、お願いします。

熊本市の状況と対策

熊本市の新規感染者数は、連休以降増加しましたが、懸念されていた連休後の急激な再拡大は見られておりません。

しかし、20代以下を中心に依然として多くの感染者が発生していることから、引き続き、基本的な感染防止対策を徹底するなど、一人一人が感染リスクを下げる行動を取ることが必要です。

【対策】

- ✓ ワクチン接種の着実な実施（追加接種・小児接種等）
- ✓ 保育所等・小学校・高齢者施設等の従事者に対する集中的検査 及び 同従事者が濃厚接触者になった場合の待機を早期に解除するための検査の支援
- ✓ 保育所等や学習活動、部活動、児童育成クラブ等における感染防止対策の徹底
- ✓ 熊本シティFM・街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
- ✓ さらに病床確保に努めるとともに、感染者が発生した高齢者施設等の要請に応じ、医療支援チームを派遣し、感染状況の把握と迅速な感染管理、医療介入を実施

【熊本市からの要請】

- ・ 熊本市から熊本市民の皆様への要請は次のとおりです。
 - ✓ **家庭での感染防止対策**を徹底してください。
特に、**子ども及び高齢者への感染防止対策**を徹底してください。
 - ✓ **基本的な感染防止対策**を徹底してください。（手洗い・うがい・手指消毒・換気・マスク着用）
 - ✓ 宴会等はなるべく普段から一緒にいる人で行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。
 - ✓ 「**熊本県飲食店感染防止対策認証制度**」を活用してください。
 - ✓ 職場において、**業種別ガイドライン**等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。
また、**テレワークや時差出勤**等に協力してください。
 - ✓ **症状は無いが、感染に不安を感じる方（熊本県民に限る）**については、**熊本県が実施している無料PCR等検査**を受検していただくようお願いいたします。